



発行所 金沢市本町3-111 金沢高等学校 新聞部・文化委員会

校訓と教育理念 質実剛健の 気風を高揚し 共に求める真理 共に育む友愛 共に尊ぶ礼節 共に鍛える心身

完成間近 新校舎棟を取材

～工事現場の「内側」に迫る～



新校舎棟の内部を取材する新聞部員

校舎改築工事が着々と進行する中、本校新聞部は6月、8月末に供用を開始する新校舎棟(C棟)の状況を詳しく伝えるため、建設業者の特別な許可を受け、工事現場内部の取材を行った。

「洗心館」と 通路で連結

新校舎棟は3階建てとなり、1、2階ともに洗心館への連絡通路が設けられる。1階は会議室や応接室等、2、3階はICTに対応した教室が3室ずつ設けられ、快適な学習環境が整備されることになる。

新聞部はこのほど、工事を管轄する松井建設(株)の宮下茂幸さんの案内のもと、また鉄骨がむき出しの工事現場を見学させていただいた。太い鉄の柱や高い天井を眺めるうち、この新校舎で学ぶ日々が非常に待ち遠しく感じら

感染防止にも配慮

宮下さんは工事全体を統括し、昨年からコロナ禍においては、感染防止対策と熱中症対策を両立させながら、円滑な工事の遂行に気を配っている。現場では多い時で約50人の方が働き、8時のラジオ体操に始まり、複数の業者によって日々作業が進められ



来月の完成に向けて 工事が進む新校舎棟(C棟)



工事計画の詳細を説明する宮下さん(左)

「集団免疫」 実現遠く

新型コロナウイルスの変異株による感染が全世界で広がる中、石川県では5月、学校関係を含む多数のクラスターが発生した。それを受けて石川緊急事態宣言が発出され、県有施設の閉鎖や、飲食店の営業時間短縮の要請が行われた。その後、感染者数は減少し、宣言は解除されたが、身近な所で感染の波が広がってきているのを感じている。

流行は何度繰り返すのか

原因に「緩み」と「慣れ」

表によると、国内でワクチン接種を始めてから約100万人は、2千万人を超えた(6月中旬)。ペースも徐々に上がってきているが、海外と比べると、接種率はまだ低い。さらに、WHO(世界保健機関)のテドロス事務局長は

た。ワクチン接種によって免疫を持つことで感染が広がりにくくなる。「集団免疫」の状態を世界規模で実現するには、まだしばらく時間がかかるというわけだ。

つまり、いくらワクチン接種が進んだとしても、引き続きマスクや手洗いといった感染防止対策を徹底することが重要なのだ。これまでに何度か緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、我々の行動は制限されてきた。それらが功を奏して一時的に感染者が減少しても、またクラ

スタア発生で再拡大期に突入、といったことを繰り返している。ある報道機関が行ったアンケートの結果によると、約8割の人が、最初の非常事態宣言が出た約1年余り前と比べて、「力を入れなくなった」「感染防止策があると回答しにくくなった」「不要不急の外出を控える」「外食はしない」「こまめな手洗い」等、感染防止対策の基本とも言えることだった。

実際に自分の周りでも、マスクを外して話す人々を見かけることがある。長引くコロナとの戦いの中で危機意識が薄れ、慣れてきてはいないか。今一度自分の意識を見直し、行動を律することが大切だ。

現状では東京オリンピックは開催予定であり、観客を入れて実施する場合には、さらなる感染拡大の懸念も示されている。政府にはどのように対策を講じていくのか、しっかりと説明責任を果たしてもらいたい。前の生活に完全に戻るとは、もう難しいかもしれない。これからも先が見えない生活は続いていくだろう。それでも事態が少しでも良くなるように、自分自身ができることを考え、行動していくべきだ。

「新しい企画を考え、笑顔いっぱい学校をつくりたい」「横田さん」と、熱い抱負を語った。

コロナ禍で、さまざまな活動において従来とは違った対策が求められる中、学校をよりよくしたいという決意に満ちた生徒会メンバーを応援していきたい。



生徒に笑顔で挨拶する執行部メンバーたち

執行部が定めたスローガン「万里一空」は、目標を見失わずに努力し続けることを意味する。会長の武田さんは「コロナ禍においても、前期の行事を安全、安心に実施できる対策を考え、全校生徒の思い出になるようなものになりたい」と、執行部の目標を語ってくれた。

副会長の高田君は、「文化祭に向けて一丸」

5人の執行委員はそれぞれ、学校の役に立つと同時に、自分自身の成長につなげたい(松本さん)、「去年できなかった行事、またはそれにかかわる新たなイベントの企画に力を入れていきたい」(宮本さん)、「これを機に、立候補したきっかけについては、会計の長岡さんは「昨年執行部を経験して、とてもやりがいを感じたから」と話し、同じく会計の名古さん



就任式に臨んだ執行部メンバーたち

「万里一空」ためめ努力を

前期生徒会執行部が始動

今年度の前期生徒会執行部員は4月27日に選出され、新しい生徒会が始動した。武田会長を中心としたメンバーは、「万里一空」のスローガンのもと、コロナ禍でも明るく元気の学校生活を実現するため、あいさつ運動等に取り組んでいる。

文化祭に向けて一丸

執行部メンバーとして、自分自身のアピールポイントを知りたいと、書記の井上さんと松本さんは、「周りをサポートできること」「一手を抜かないこと」と、それぞれ語ってくれた。

「新しい企画を考え、笑顔いっぱい学校をつくりたい」「横田さん」と、熱い抱負を語った。

コロナ禍で、さまざまな活動において従来とは違った対策が求められる中、学校をよりよくしたいという決意に満ちた生徒会メンバーを応援していきたい。

新任紹介

今年度は新任の先生5名が着任された。先生方の中には、多彩な趣味を持つ方々が多く、学校がさらに賑やかになることは間違いなさだ。新聞部では先生方のことをもっと知ってもらうため、インタビューを実施した。

澤田 豊 先生 (理科 第1職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。3年間クラス替えがなく、しかも全員男子だったので、今でも結びつきは強いものがあります。行事も受験勉強も、全員で頑張ったことが良い思い出です。
 趣味は何ですか？旅行、スポーツ観戦などですが、このところ十分に楽しむことができません。
 好きなスポーツ選手は誰ですか？

吉川 純 先生 (英語 第3職員室)
 ご出身は？
 高校時代の思い出を教えてください。加賀から小松までの電通が楽しかったです。
 趣味は何ですか？旅、写真、鉄道、音楽です。コロナ禍でガーデニングを始めました。

寺本 要 先生 (地歴公民 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。これからよろしくお願ひします。私と一緒に新しいことにどんどん挑戦していきたいです。
 金高生にメッセージを。
 テニスの錦織選手や野球の大谷選手のように、海外で活躍している若い選手を見て元気をもらっています。
 金高生にメッセージを。

川崎 洋一 先生 (理科 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。テニスばかりをしていました。今も趣味はテニスです。
 好きな芸能人は？あいみょんです。インディーズ時代、大阪で路上ライブをしているのを見て、その時から応援しています。
 好きな言葉は？「与えられるものは有限、求めるものは無限」
 金高生にメッセージを。受け身ではなく、自分から積極的に求めていきます。

元林 裕一 先生 (国語 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。テニスばかりをしていました。今も趣味はテニスです。
 好きな芸能人は？
 金高生にメッセージを。プラス思考で明るく楽しくチャレンジしてください。

吉田 誠 先生 (国語 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。映画「男はつらいよ」の大ファンです。
 好きな言葉は何ですか？「人生は一度限り、自分の好きなことに打ち込むべし」
 金高生にメッセージを。

堀 謙一 先生 (国語 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。映画「男はつらいよ」の大ファンです。
 好きな言葉は何ですか？「人生は一度限り、自分の好きなことに打ち込むべし」
 金高生にメッセージを。

山崎 誠 先生 (国語 第3職員室)
 高校時代の思い出を教えてください。映画「男はつらいよ」の大ファンです。
 好きな言葉は何ですか？「人生は一度限り、自分の好きなことに打ち込むべし」
 金高生にメッセージを。

令和3年度前期 生徒会執行部	
会長	麗央 (3年5組)
副会長	光矢 (3年5組)
書記	幹太 (3年7組)
会計	色葉 (2年1組)
執行委員	香帆 (2年3組)
執行委員	陽菜 (2年8組)
執行委員	谷麻尋 (2年8組)
執行委員	名古長岡 (2年8組)
執行委員	松本 (2年8組)
執行委員	宮本 (1年3組)
執行委員	西川 (1年5組)
執行委員	尾崎 (1年9組)
執行委員	横田 (1年12組)

陸上競技 男子400mリレー 10年ぶり記録更新 40秒93



400mリレーを制した(左から)高井君、小林君、奥村君、津田君

県高校総体陸上競技は5月27日から29日にかけて、県陸上競技場で行われ、本校陸上競技部は男子4×100mリレーで40秒93をマークして優勝し、県高校記録を10年ぶりに更新した。

同リレーメンバーでは小林研太君(3年13組)が100mを制し、津田葵音君(3年13組)が走幅跳、三段跳で優勝した。棒高跳では木本宝月君(2年11組)が栄冠を手にした。

部長の高井克真君(3年13組)は「北信越大会では、6位に入らなければインターハイに出場できないため、一人でも多くの人が出場できるように頑張ります」と、さらなる栄光に向けて意気込みを見せた。

- 【県高校総体結果】
- 男子
- 100m 小林研太 優勝
 - 高井克真 5位
 - 奥村慎太郎(3年8組) 6位
 - 200m 羽田悟士(3年10組) 4位
 - 小林研太 5位
 - 400m 初崎 連(3年8組) 4位
 - 山下大輝(3年2組) 8位
 - 800m

- 4×100mリレー 龍湖唯(2年6組)、定仙千里(3年13組)、別宗陽(3年8組)、向井美葵 優勝
- 4×400mリレー 初崎、山下、石崎、奥村 優勝
- 走高跳 松本航季 8位
- 棒高跳 舟木宝月 優勝
- 杉林一輝(1年7組) 2位
- 走幅跳 津田葵音 優勝
- 三段跳 津田葵音 優勝
- 松本航季 優勝
- 砲丸投 加藤亮太(3年9組) 8位
- 円盤投 加藤亮太 4位
- 8種競技 富山創史朗(3年12組) 5位
- 瀬戸聡太(3年12組) 6位
- 総合 トラク 2位
- フィールド フィールド 3位

延長サヨナラ 伝説は終わらない

県高校総体ソフトボール競技は6月5日から6日にかけて、金沢市専光寺ソフトボール場で行われた。本校女子ソフトボール部は津幡高校との決勝戦において、延長8回タイブレークのサヨナラ勝ちとし、8大会連続10度目の優勝を果たし、インターハイ出場を決めた。

部長の朝倉彩海さん(3年12組)は「県総体での優勝は嬉しかったけれど、とても悔しい思いが混じる大会でした。特に決勝では一点先制され、予想していた展開にならず、焦る気持ちがありました。しかし、チームがここで負けられないという強い気持ちがあったから勝てたと思います。課題が多く出た大会だったので、インターハイには気持ちを切り替えて臨みたいですね」と、表情を引き締めた。

- 【北信越大会結果】
- 1回戦 金沢11-0 彦野(長野)
 - 準決勝 金沢2-0 福井(福井)
 - 準決勝 金沢4-0 鷺宮(福井)
 - 決勝 金沢12-0 啓新(福井)
- 【県高校総体結果】
- 2回戦 金沢12-0 小松商業
 - 準決勝 金沢9-0 星稜
 - 決勝 金沢2-1 津幡



優勝旗を手に笑顔の選手たち

吹奏楽部による「文教アートウェイブ・サマーコンサート」は6月19日、県文教会館で開かれ、吹奏楽部の約30人が練習を重ねた軽快な演奏を披露した。

昨年はコロナ禍で開催することができず、2年ぶりの実施となった。来場した保護者や教職員は、生徒たちの演奏に聴き入り、惜しめない拍手を送っていた。



息の合った演奏を披露した部員たち

- 【北信越大会結果】
- 男子
- 100m 小林研太 4位
 - 4×100mリレー 高井、小林、奥村、津田 優勝
 - 800m 森田清輝 8位
 - 棒高跳 舟木宝月 7位
 - 走幅跳 津田葵音 3位
 - 三段跳 津田葵音 優勝
 - 団体フィールド部 3位

県高校総体弓道競技は5月30日から6月5日にかけて、県立武道館にて行われた。男子個人の部では坂下開盛君(3年5組)が準優勝に輝き、インターハイへの出場権を手にした。



個人準優勝となった坂下君

坂下君は「男子弓道部は団体戦8位入賞、個人は準優勝という好成績を収めることができました。このような結果を得ることができたのは、部員全員が大会だけでなく日々の練習から集中し、一本一本を大切にできたからだと思います。北信越や全国大会は今まで以上に厳しい戦いになると思うので、自分が今日まで行ってきた「射」を信じ、悔いだけは残さないように頑張りたいと思います」と語った。

- 【県高校総体結果】
- 男子団体 予選 19中/40射
 - 準決勝 22中/60射
 - 男子個人 坂下開盛 13中/16射 準優勝
 - 女子団体 予選 11中/40射

県高校総文「高等学校美術展」は6月4日からインターネット上で開催され、本校書道部の南口詠歌君(2年2組)が「自叙帖」と話した。

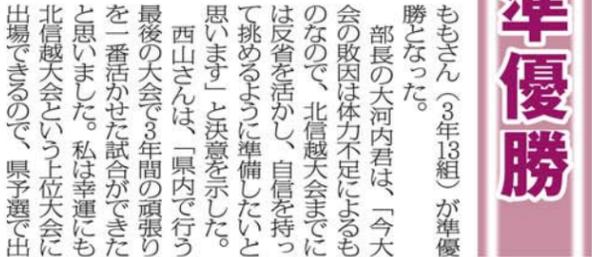
南口君は「私には書道部の週2回の時間を大切に、1枚1枚を集中して書きました。次回の大会も頑張りますので、応援をよろしくお願いします」と話した。



優良賞を受賞した南口君

- 【WEB芸術展で優良賞】
- と題した作品で優良賞を受賞した。書道部門の出品総数141点の中から選ばれた。南口君は「私は書道部の週2回の時間を大切に、1枚1枚を集中して書きました。次回の大会も頑張りますので、応援をよろしくお願いします」と話した。

県高校総体柔道競技は6月3日から5日にかけて、県立武道館にて開催された。男子団体の部では西山もも(3年12組)と48kg級の西山ももが優勝した。



横四方固めで相手を抑え込む大河内君(左)

部長の大河内君は、「今大会の敗因は体力不足によるものなので、北信越大会までには反省を活かし、自信を持って挑めるように準備したいと思います」と決意を示した。

西山さんは、「県内で行う最後の大会で3年間の頑張りや一番活かした試合ができたと思えました。私は幸運にも北信越大会という上位大会に出場できるので、県予選で出た課題を乗り越え、悔いの残らない試合ができるように頑張っていきます」と力を込めた。

- 【北信越大会結果】
- 女子個人 48kg級 西山もも 準優勝
 - 女子個人 48kg級 西山もも 優勝
 - 男子個人 60kg級 大河内優斗 準優勝
 - 66kg級 金谷悠(2年11組) ベスト8

県高校総体トランポリン競技は6月5日、星稜高校第2体育館で行われ、本校の小坂彩菜さん(3年10組)はBクラス女子の部で優勝した。

小坂さんは「コロナの影響で、いろいろな制約のある中で競技でした。また大会前に2週間運動が中止になり、練習期間が1週間しかなく、個人小坂彩菜 優勝



美しい演技を見せる小坂さん

「高校総体トランポリン競技は6月5日、星稜高校第2体育館で行われ、本校の小坂彩菜さん(3年10組)はBクラス女子の部で優勝した。小坂さんは「コロナの影響で、いろいろな制約のある中で競技でした。また大会前に2週間運動が中止になり、練習期間が1週間しかなく、個人小坂彩菜 優勝

- 【高校総体結果】
- Bクラス女子 個人 小坂彩菜 優勝

- 【各部の記録】
- バドミントン部
- 男子団体 1回戦 金沢3-0 小松商業
 - 2回戦 金沢0-3 彦野
 - 女子団体 1回戦 金沢1-3 錦丘
- 卓球部
- 男子団体 1回戦 金沢3-0 向陽
 - 2回戦 金沢2-3 羽咋工業
 - 女子団体 1回戦 金沢1-3 泉丘
- 少林寺拳法同好会
- 男子組演武 西村悠(2年1組)・伊藤琉成(2年5組) 7位
- 放送部
- 全国高校放送コンテスト 県大会 朗読部門 菊田凛花(3年5組) 入選
 - 邦楽合同発表会 「雪人形の夢」 優良賞

県高校総体女子シングルスカルは6月5日、6日にかけて、津幡漕艇競技場で行われ、本校の東奏未さんが優勝し、北信越大会でインターハイの出場を決めた。

東さんは「今大会では自分一人の力を発揮することができました。しかし改善点がたくさんあるので、インターハイまでに自分の納得できる漕ぎが出来るように頑張ります。そして、一つでも上位に入れるように頑張りたいです」と、抱負を語った。

- 【北信越大会結果】
- 女子シングルスカルB組 東奏未 優勝

【会心の演技】

心配でした。先生の「結果は気にせず、自分の演技を完璧にする」という言葉を思い出して頑張りました。高校最後の大会で、自分の納得のいく演技ができてよかったです。本当に今まで熱心に指導下さった先生のおかげだと思えます」と、笑顔で感謝の言葉を述べた。

- 【高校総体結果】
- Bクラス女子 個人 小坂彩菜 優勝

特集 金沢ベイエリアが今、熱い

コロナ禍でも人気 クルーズターミナル

「玄関を見れば、その家がわかる」と言われるが、金沢港に誕生したクルーズターミナルは、文化の香り高い石川の地を象徴する、まさに美しい玄関である。一面ガラス張りの建物の屋根は、日本海の波をイメージして緩やかにカーブし、海の風景の一部として溶け込んでいくかのよう



日本海の波をイメージした屋根を持つ金沢港クルーズターミナル

「海の玄関口」に新シンボル

の多彩さと、伝統工芸の意匠に再び驚かされる。1階には、広大なCIQエリアが設けられている。CIQとは税関、出入国管理、検疫を表す英語の略称で、出入国の際に必要な手続きを行う場所である。



豪華客船が寄港する金沢港クルーズターミナル(右) (金沢港クルーズターミナル提供)

金沢港の新たなシンボルとして昨年誕生した「金沢港クルーズターミナル」が、6月にオープン1周年を迎えた。コロナ禍で開館が2カ月遅れとなったが、この状況下でも当初の目標人数を大きく上回る来館者を集めている。これまでや地味な印象だった金沢港の新たなにぎわいスポットとして、脚光を浴びている石川の「海の玄関口」の魅力を探った。



船の操縦を体験できるシミュレーター

2階へ向かうと、さらさらの施設の楽しみが増える。その一つである「金沢港まなび体験ルーム」では、マルチディスプレイを用いた、国内最大級のクルーズ船の操縦シミュレーター、クルーズ船に乗った気分になれる疑似体験シアター、マニアクンなどまで学べるクイズコーナー等があり、どれも幅広い年齢層が楽しめる内容となっている。

クルーズ船を疑似体験

さらに目に入るのは、待合エリアに立つ絢爛豪華な色彩を放つ2本の柱。石川を代表する九谷焼、加賀友禅、輪島塗、山中漆器、金沢箔、首飾、加賀繻、金沢箔といった工芸の技を贅沢に使ったパネルが設置されている。これを見るだけでも、来館の価値はありそうだ。



美しい工芸品をちりばめた柱が来場者の目を引く



生徒に自身の半生を語る辻口さん

をテーマに講演した。本校と同専門職大学が5月に高大連携協定を締結したことを機に、実施された。辻口さんはパティシエを倒産した後、もう一度自分の夢を見つめ直し、自分が大好きな職を選択した、と語った。辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して



講演後に行われた花束贈呈

「自分らしい生き方を」パティシエの辻口さんが本校で講演

かなざわ食マネジメント専門職大学・金沢高等学校 高大連携事業「キャリアセミナー」 講師：辻口博昭氏 テーマ：夢を叶える

辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して

つめ直し、自分が大好きな職を選択した、と語った。辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して

つめ直し、自分が大好きな職を選択した、と語った。辻口さんは「今も常に勝負を続けている」と話し、ペルーに農園を所有し、品質の高いカカオの生産を計画して

金沢港開港50周年で整備

その開港50周年を記念して整備されたクルーズターミナルだが、昨年はコロナ禍によりクルーズ船の寄港はゼロだった。4月にクルーズ船の入港

クルーズ船のキャンセル続く

が容易に行える。涼しい潮風を頼りに、最高の気分になれる場所だ。

1年延期後、実現

山本君は昨年、川北中学校の陸上部部長を務めていたことから、聖火を持って地元の川北町を走りたくと考え、応募した。しかしオリンピックが延期となり、さらに今年の聖火リレーは

つないだ「五輪の火」

山本君、聖火ランナーを務める

東京五輪聖火リレー代替イベントとなる聖火点火セレモニーは5月31日、金沢市の金沢城公園三の丸広場に開催され、本校の山本慎矢君(1年7組)が聖火ランナーとして参加した。

1年延期後、実現

山本君は昨年、川北中学校の陸上部部長を務めていたことから、聖火を持って地元の川北町を走りたくと考え、応募した。しかしオリンピックが延期となり、さらに今年の聖火リレーは

聖火をつなぐ山本君 (NHKホームページより)

山本君を含む104人のランナーが金沢城公園に集結し、福井県より受け継がれた聖火をトーチキスによって繋いだ。大役を果たした山本君は、「1年間待ちました。やっとトーチを持つことができました。これは残念でしたが、一生に一度の機会だと感じました。オリンピックでは選手たちを一生懸命応援したいと思えます」と、晴れやかな表情で語ってくれた。

聖火ランナーを務めた山本君

編集後記

中田 智大(3年3組)

今回は初めて新聞というものを制作しました。この経験を経て、私学ならではの新聞制作というものは達成感が大きいということでした。人数が少ないということもあってか、新聞制作する過程で私は勉強以上の疲れを感じました。しかし新聞が完成すると、今まで感じたことがない充実感が私を包み込んでくれました。その充実感は、私にまだまだ新聞を書きたいと思わせました。だから私はまた、新聞を書きたいと思えます。

前山 陽一(1年3組)

初めて新聞記事になる文章を書きました。自分が書いた文章が記事になると想像すると、ワクワクしました。新聞記事を書くに当たって、様々なコツを先生や先輩方に教わりました。その全てに納得することができ、楽しく制作することが出来ました。これからよりよい記事を書いていきたいです。

水田 大喜(1年3組)

今回の取材が僕にとっての

デビュー戦でした。わからないことが多く、コミュニケーションのなさを追いかけてきて、先輩や同級生に助けられてはかりました。もどかしさを感じる反面、学ぶことが多く、良い経験になったと感じています。取材現場や職員室前のスペース等、様々な場所での部員たちと共に時を過ごしていったこの時間は、とても僕のためになるものでした。これから先も、この経験を活かし、より素晴らしい新聞を書き上げたいです。

窪田 蓮(1年6組)

初めて高校の新聞を作りました。初めてのこともあり、分からないことが多くありましたが、先輩方にはたくさん助けってもらいました。部の友達とは、互いに慣れないながらも一緒に新聞を書き上げることができました。長時間、記事を書くのは大変でしたが、良い経験になりました。次回の新聞は今以上に上手く、そして素早く出来るようにしたいです。

井上 将也(1年12組)